



## 1. マーケット・レート

			8月3日	8月4日	8月5日	8月6日	8月7日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.4510	3.4710	3.4850	3.5350	3.5070	-0.0280
	BRL/JPY	Spot	35.94	35.83	35.82	35.28	35.41	+0.13
	EUR/USD	Spot	1.0952	1.0884	1.0907	1.0924	1.0963	+0.0039
	USD/JPY	Spot	124.03	124.38	124.86	124.73	124.23	-0.50
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.25	14.24	14.24	14.37	14.49	+0.1176
	Future	1Year(p.a.)	14.08	14.09	14.10	14.46	14.55	+0.0857
	On-shore USD	6MTH(p.a.)	1.946	2.120	2.246	2.457	2.298	-0.159
株式	Bovespa指数		50,138.05	50,058.49	50,287.27	50,011.32	48,577.32	-1,434.00
CDS	CDS Brazil 5y		300.95	303.84	305.43	331.67	332.16	+0.49
商品	CRB指数		199.303	200.870	199.778	198.540	198.323	-0.217

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。

## 2.週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は先週引けからレアル方向に窓を開け3.4400で寄り付いた。週末に中国で発表された製造業PMIなどが前月から悪化したで上海株が軟調推移したことを受けたもの。中国の景況感悪化やイランの原油増産見通しを受けて、供給過剰への懸念から原油価格が4ヶ月ぶりの水準まで下落すると、レアルは上値の重い展開となり、3.43台から3.46で推移した。伯中銀による市場予想調査では、2015年のGDP成長率は3週連続で下方修正され、-1.76%から-1.80%に引き下げられた。インフレ率は16週間で上方修正され、9.23%から9.25%へ引き上げられた。2015年末の為替レート予想は3.35とレアル安方向に修正された。
- 4日には中国の空売り規制強化策を受けて上海株が反発したことを背景にレアルは週間高値の3.4310を示現した。しかし、米ロックハートアトランタ連銀総裁の9月利上げ示唆発言を受けてドルが上昇し、レアルは3.48台まで反落した。
- 週央には米ISM非製造業景況指数が10年ぶりの高水準となったことで、前日のロックハート総裁の利上げ示唆が後押しされる形となり、ドルが全面高となった。レアルは3.50目前まで下落したが、この水準では高値警戒感から買戻しも強く膠着相場となった。しかし、翌6日にはルセフ大統領の支持率低下の報道などを受けて、オープン早々に節目の3.50を下抜けた。短期筋の投げもあり、レアルは週間高値の3.5690まで急落した。マーケットクローズ後、伯中銀はドル売り介入ポジションのロールオーバー金額を3億ドルから5.5億ドルに増額することを発表した。
- 7日は前日夜間の中銀発表を受けて、寄り付きからはレアル買い優勢となり、一時3.50台まで上昇したが、反応の持続性はなかった。その後発表された7月の米雇用統計がほぼ予想通りだったことから、週末を控えてドルに利益確定の動きが出た。レアルは反発し結局3.5070で越週した。

## 3.今週のチャート＆ハイライト



## レアル急落を受けて伯中銀が為替介入姿勢を強化

6日、伯中銀はレアルが心理的節目となる3.50を割り込んだことを受けて、ドル売り介入プログラムのロールオーバー金額を毎日5.5億ドルに増額すると発表し、7日より実行した。この増額により、現在中銀が9月に保有しているドル売りポジションはほぼ全額ロールオーバーされる見通し。伯中銀のメンデス金融政策担当理事は、現在のレアルレートは政治シナリオを勘案しても明らかに行き過ぎであり、ファンダメンタルズから著しく乖離しているとコメントを出した。この介入によりレアル安に歯止めがかかるかは不明。今のところ市場の反応は薄い。

出所:Bloomberg

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しております。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さい。宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



## 4.来週の為替市場注目点

### 予想ドル・レアル相場レンジ：3.40—3.60

今週は中国株式市場発のリスクオフムードが継続し中南米通貨は軒並み売られた。中国当局の空売り規制強化などで上海株式市場は下げ止まっているが、世界的に市場ではリスク回避ムードが続いている。特にレアルは世論調査でルセフ大統領の支持率が10%を割り込んだことなどもあり、政治リスクへの懸念から心理的節目となる3.50を下抜け、2003年3月以来12年ぶりの安値となる3.5690を示現した。この動きを受けて伯仲銀は為替介入プログラムのロールオーバー金額増額を発表したが、市場参加者の反応は薄く、レアルが買われたのは一瞬だった。来週末には反ルセフ大統領の大規模なデモが計画されているとの情報もあり、政局への懸念が和らぐ兆しは見えない。来週もレアルは弱含みの展開が続きそうだ。

一方ドルサイドの材料として、本日発表された7月米雇用統計は非農業部門雇用者数が市場予想に届かなかつたが、前月分は上方修正されており、強弱まちまちとなっている。ただし水準自体は目標となる200千人を越えており、強いレベルと言える。ロックハートアトランタ連銀総裁の利上げ示唆を受けて、9月17日のFOMCで0.25%の利上げに踏み切るとの予想が大勢を占めているが、来週8月10日には同総裁の公演があり、本日の米雇用統計を受けてどのような見解が示されるかに注目が集まっている。

## 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	0.62%	0.58%	0.68%
ブラジル	FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	7.46%	7.43%	6.22%
ブラジル	IBGEインフレIPCA(前月比)	0.60%	0.62%	0.79%
ブラジル	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	9.53%	9.56%	8.89%
米	非農業部門雇用者数変化	225K	215K	231K
米	失業率	5.3%	5.3%	5.3%

## 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	8/10	FGV CPI IPC-S	Aug-09	--	0.53%
ブラジル	8/10	貿易収支(週次)	Aug-09	--	\$204M
ブラジル	8/11	FIPE CPI-週次	Aug-07	--	0.72%
独	8/11	ZEW調査現状	Aug	64.2	63.9
ブラジル	8/11	IGP-M Inflation 1st Preview	Aug	--	0.65%
米	8/11	卸売在庫(前月比)	Jun	0.40%	0.80%
ブラジル	8/12	小売売上高(前月比)	Jun	-0.60%	-0.90%
ブラジル	8/12	小売売上高(前年比)	Jun	-2.90%	-4.50%
ブラジル	8/12	広義小売売上高(前年比)	Jun	--	-10.4%
ブラジル	8/13	経済活動(前年比)	Jun	-2.45%	-4.75%
米	8/13	小売売上高速報(前月比)	Jul	0.60%	-0.30%
ブラジル	8/14	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Aug	--	0.75%
ブラジル	8/14	登録雇用創出合計	Jul	--	-111199
米	8/14	PPI 最終需要(前月比)	Jul	0.10%	0.40%
米	8/14	鉱工業生産(前月比)	Jul	0.3%	0.3%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しております。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。